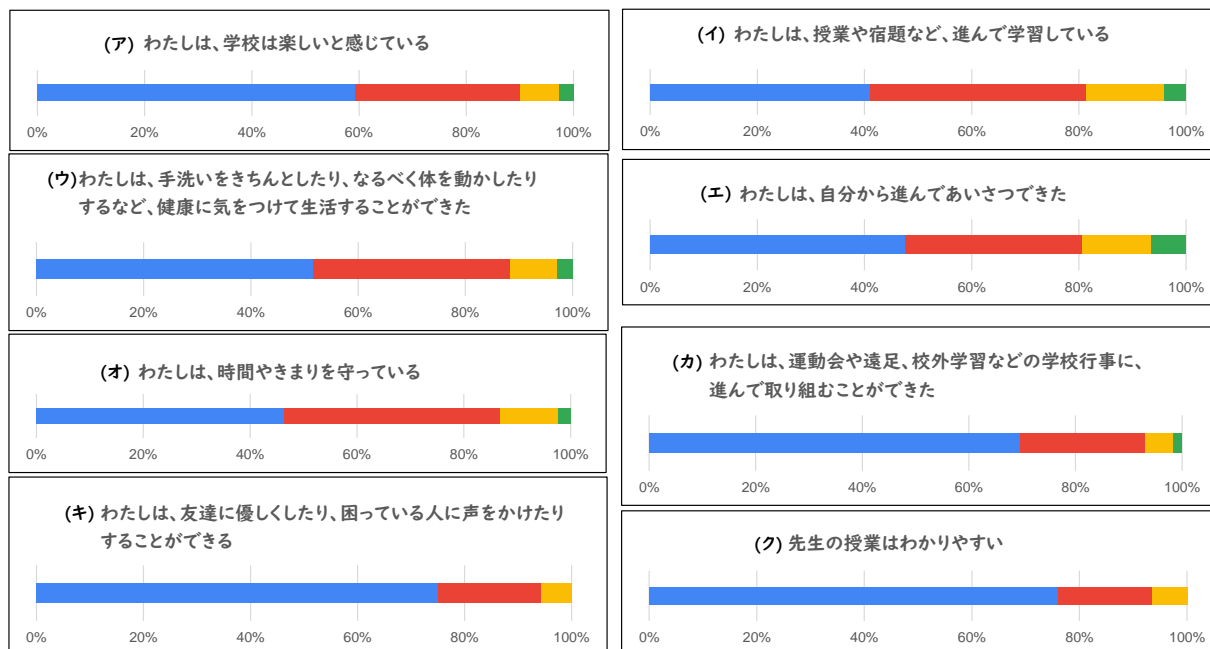


# 学校評価アンケート 児童



回答は、左から

4→とてもそう思う 3→どちらかというと思う 2→どちらかというと思わない 1→そう思わない

## 〈全体の傾向〉

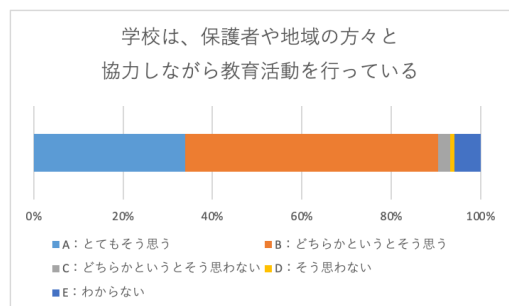
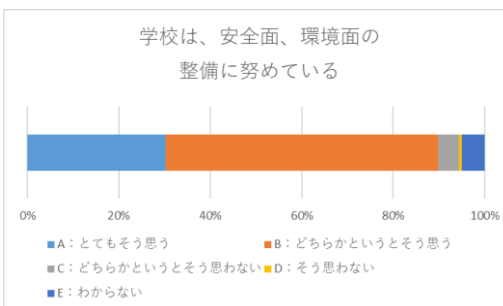
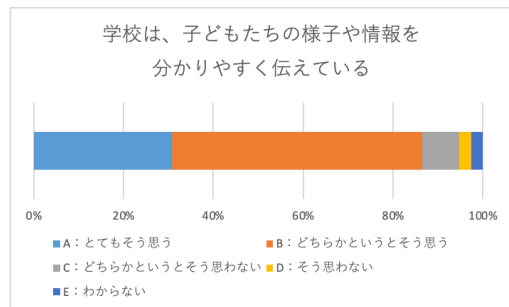
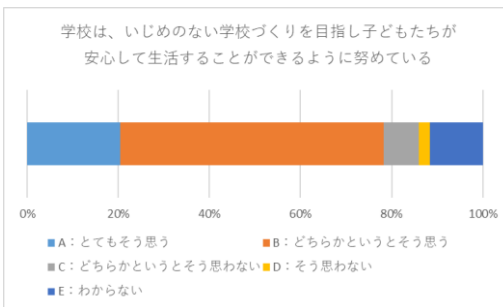
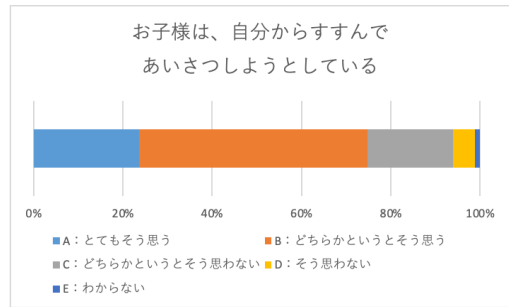
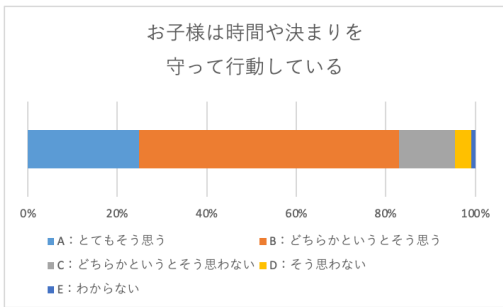
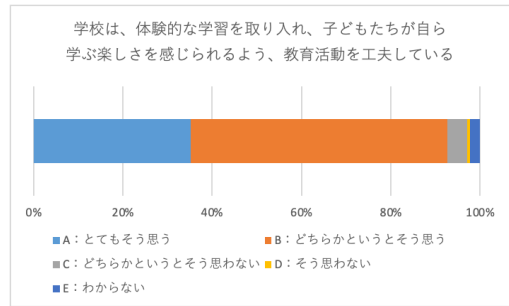
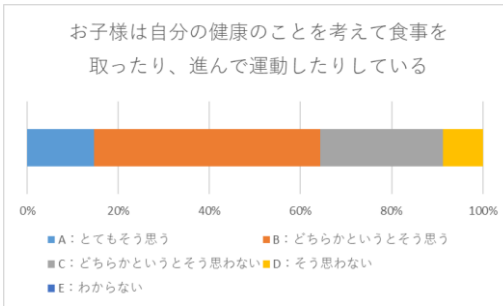
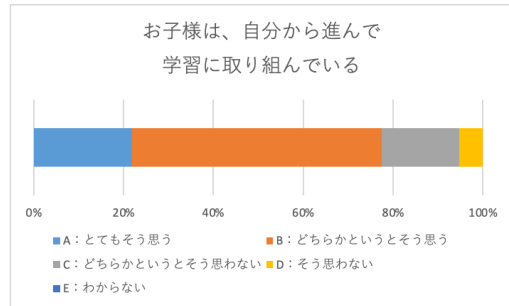
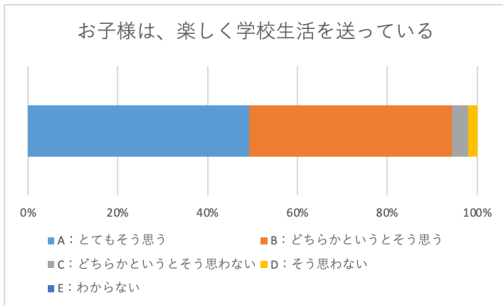
全体的に全ての項目において、肯定的な評価が80パーセント以上をしめており、児童が学校生活全般に意欲的に取り組んできたことが分かりました。特に運動会や体験学習、今年ならではの90周年記念式典など、前向きに取り組んできた様子が見て取れます。一人ひとりが様々な行事の中で、輝ける場が増え、充実した学校生活につながっていたことが考えられます。

## 〈項目別分析〉

学校行事の項目では、各学年で実行委員を立てて、主体的に活動に取り組んでいたことが、子ども達の達成感につながっていたのだと思います。友達との関わりの項目では、昨年度に引き続き、思いやりをもって接していると答えた児童が多く、三ツ沢の子ども達の変わらないよさだと言えます。日々の学習に関する項目では学習内容を理解して、充実した学習時間を過ごしている一方で、進んで自分の考えを発信することに自信がもてなかったり、宿題などの家庭学習に取り組んだりすることを、課題としている児童もいるので、一人ひとりに合わせた支援をしていきたいと思えます。

昨年度に引き続き、ほとんどの児童があいさつや学校の決まりを意識していますが、他の項目に比べると、がんばりが足りていないと感じている児童が多いので、できていることを価値付けながら、自信がもてるように支援していきたいと思えます。

## 学校評価アンケート 保護者



## 〈全体の傾向〉

全体的に概ね肯定的な評価となっており、学校生活が充実していると捉えている方が多いことが分かりました。様々な場面でご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。保護者の方からいただいたご意見を学校でしっかりと共有し、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように取り組んでまいります。

## 〈項目別分析〉

児童の様子に関する項目について、「お子様は、楽しく学校生活を送っている」について9割以上の保護者が楽しんで考えていることが分かりました。一方で、「お子様は、自分から進んで学習に取り組んでいる」「お子様は自分の健康のことを考えて食事をとったり、進んで運動したりしている」「お子様は、自分から進んであいさつしようとしている」については、3割程度の保護者の方がより充実を図ってほしいと願っていることが感じられました。

特に、食事や運動については昨年度に引き続き、肯定的な意見が7割を切っていました。一方、9割程の子どもたちが肯定的に捉えており、保護者と子どもとの捉えが違ってくるようになりました。健康・体力面の向上の充実に向けての取組が保護者の方にもより伝わるように、工夫してまいります。「あいさつ」についても、いつでもどこでも気持ちのよいあいさつができるよう引き続き指導してまいります。

学校の教育活動に関する項目では特に、「体験的な学習の充実」や「保護者、地域との連携」について、肯定的に受け止めている方が多くいました。生活科や社会科、かがやきの授業を中心に、地域とつながる機会が増えてきたことも要因として挙げられると考えます。「いじめのない学校づくり」については、8割程度の保護者が肯定的に捉えていることが分かりました。子どもたち一人ひとりがさらに安心して楽しく学校生活を過ごすことができるよう、全職員で情報を共有しながら取り組んでまいります。「学校からの情報発信」「安全面・環境面の整備」については、9割近くの方が肯定的に捉えています。今後も、情報の発信に努めてまいります。また、子どもたちが安全に過ごすことができるよう、安全面・環境面の整備を見直し、充実を図ってまいります。

これらを踏まえ、今後の教育活動をさらに工夫し改善を図ってまいります。

# 学校に対していただいたご意見・ご感想（抜粋）

アンケートでは、学校生活の中で身に付けてほしい方などについて、文章表記によるご意見・ご感想をいただきました。今年は特に90周年の行事について、多くの感想をいただいております。ありがとうございました。いただいた主なご意見・ご感想と、学校評価のまとめについて掲載させていただきます。

## 学習・生活面について

- 日頃から先生には、子どもの得手不得手や性格をよく見て指導していただいている。
- 教育相談の内容から、ちゃんと個人個人の「人となり」を見ていただけている安心感があった。
- 先生の温かい支援のもと、楽しく学校に通っている。休み時間に友達や先生と遊ぶのが楽しいようだ。
- 字を丁寧にきれいに書くことを習慣づけていただいた。困ったときにすぐ先生に相談できる環境づくりが、とてもありがたい。
- 学級担任によって対応が違って戸惑うことがある。欠席した翌日の時間割の連絡の有無、冬場に体育着で着るトレーナー、学級だよりの有無など。子どもが困らない学校生活を送ってほしいと思っている。  
→ご意見ありがとうございます。欠席の翌日の時間割連絡については、担任の出張や研修などで連絡できないことがあります。また、冬場の体育時の服装をはじめ、持ち物などについては学校生活スタンダードとして学校内で共有しておりますが、改めて職員、児童ともに共通理解を図ってまいります。



## 90周年記念行事について

- 90周年の行事はとても感動した。子ども達のバルーンを飛ばすときの嬉しそうな顔と歓声が、より一層喜ばしく感じた。風景として、大人になってもずっと残っていくと思う。
- 記念品も気に入って毎日使っている。自分たちの小学校に誇りをもち、これからも三ツ沢小学校の一員として楽しく過ごしてほしい。
- バルーン飛ばしに地域のみなさんで参加できたのは、とてもよかった。参加できなかった家族は学校だけで楽しんでた。100周年も楽しみにしています。
- 環境への悪影響が懸念されている面もあるのに行ったことについて、不適切だと感じた。  
→バルーンは、自然の中で土にかえる素材でできたものが使用されました。樹木などにひっかかることがないように糸の持ち手を輪に結ばないなど、環境に配慮して行いました。



## 学校行事について

- 学校でしか得られない「ある集団に属し、みんなで何かをする」という様々な活動が再開し、子どももそれまで味わったことがなかった学校の楽しさを感じていたように思う。
- ほたるの観賞が思い出に残っている。実際に発光するほたるを見ることができて親子共々感動した。
- 4年ぶりの音楽会開催で子ども達の歌声に感動した。
- （人権集会の）梯さんのピアノ演奏に感銘を受け、勇気づけられたようだ。素晴らしい機会となった。
- 運動会などを通じて、他学年との交流や目標に向かってみんなで取組を行っていると感じた。
- 運動会で高学年の子ども達が一生懸命に踊っている姿を見て、とてもよい子に育っていったいな、安心して小学校だなと感じた。
- 運動会が半日で終わるのがよかった。半分の学年で観やすかったが、きょうだいがいる家庭は2日間休みを取るのが大変ではないか。
- 分散でなく全校で実施してほしい。運動会は本来なら全校で行うことが望ましい。  
→運動会をはじめ、行事の在り方については様々なご意見があります。その中で「子ども達のために学校として何を大事にしていくか」という視点にたって、今後も行事について考えてまいります。



## 身に付けさせたい力について

- あいさつがしっかりできる三ツ沢っ子、自分からあいさつする子に育ててほしい。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」はどちらもとても大事。もう一つ「困っています」とSOSを求める言葉を発信していいのだということを身に付けられたら安心。
- 友達や周りの人を思いやる心。優しさをもって困っている人を助ける姿勢を学んでほしい。
- 様々な考え方や価値観に気づき、心豊かに成長してほしい。社会性や共感力。
- 自ら考え行動し、自分で解決する能力。
- コミュニケーション力。自分の考えを相手に伝える力、相手の考えを受け止められる力。発信する力。
- 失敗を恐れずにチャレンジする力。心の強さ。失敗したとしてもその経験からの学ぶ力。



## その他

- 学校からのお手紙をマチコミで電子配付していただけるようになり、ありがたい。
- 校庭に植わっている木々も季節を感じられるところが、よい学校だなと感じる。



## 学校評価のまとめと今後について



### 【教育効果が上がってきたもの】

#### ◆教育活動の再開と充実◆

今年度は、学校の教育活動をかなり再開してきました。例えば、ずっとテレビ放送で行ってきた朝会や集会を、全校児童が一堂に会して行えるようになりました。全校みんなで歌を響かせたり、たて割りや遊んだりする中で、学校という大きな集団の一員としての意識が高まってきています。

生活科や総合的な学習では地域へ出かけられるようになり、地域から多くの学びをいただきながら学習を深めることができます。校外学習や遠足でも、それぞれの学年で実行委員会を立ち上げ、めあてを自分たちで考えたり、出発・帰校の会の運営を行ったりと、企画・運営・実行ができるよう支援を行ってきました。その結果として、コロナ禍の3年間に味わえなかった達成感や自己有用感を感じられる一年になったと感じています。

### 【教育効果をさらに上げていきたいもの】



#### ◆自分も人も大切にすること◆

三ツ沢小学校は、児童数が今も少しずつ増えています。大きな学校はたくさんの友達と触れ合えるというよさがある一方で、人間関係が複雑になる場合もあります。一人ひとり違って当たり前であること、互いを認め合うこと、思いやりをもって接していくことを、これからも大切にしていきます。なかよしタイム、人権週間、道徳学習などを通して、子ども達の毎日に自分も人も大切にすることが根付き、どの子も安心して過ごせる学校づくり、仲間づくりをこれからも目指していきます。

#### ◆主体的に学び、伝え合う力◆

保護者の皆様から「身に付けさせたい力」として、「自ら考え、解決する力」「発信する力」「失敗を恐れない心」などが上がっています。本校では「自ら関わり、考えを伝え合う力」の育成を目指して重点研究に取り組んでいます。今後も、子ども達が楽しみながら主体的に学び、力を伸ばしていけるような授業づくりを研究し、学んでまいります。